

三都海外知的財産セミナー第2回

日本との相違点を踏まえた米国特許実務（非自明性に関する問題を中心として）

世界市場の多極化が進みつつありますが、未だ、米国での特許取得に高い関心をお持ちの日本企業様は多いと思います。

データから見ると、米国の特許査定率が日本等に比べて特に低いというわけでもありませんが、特に米国での権利化の経験が少ない方の中には、日本における制度や考え方の違いに戸惑っておられる方もおられるように思います。

本セミナーでは、このような米国実務の経験の浅い方を対象に、前半では、クレーム解釈や、非自明性の判断手法など、非自明性に関する日米の制度や考え方の違いを中心に説明をしてみたいです。また、後半では、USPTOで主任特許審査官を務められた特許弁護士のデイビッド・マクロスキーさんにも加わって頂き、米国の審査官目線から見て、日本の出願人が米国での特許取得に関してどんな点に注意すべきかについてお話をお聞きしてまいります。

開催日時：令和8年1月20日（火） 10時00分～12時00分

講義内容：

- 1.非自明性に関する日米の制度や考え方の違い
- 2.米国の審査官目線から見た、日本の出願人が米国での特許取得するための注意点

**【開催概要】****開催形式**

Zoomを利用したオンライン形式で開催します。
（後日アーカイブ配信あり）

定員

80名（定員に達した場合締め切ります）

講師

David McCrosky 氏（United IP Counselors, LLC 米国特許弁護士
元米国特許商標庁（USPTO）審査官）
三崎 正輝 氏（弁理士法人新樹グローバル・アイピー 弁理士）

参加費

大阪発明協会・京都発明協会・兵庫県発明協会会員 無 料
一般 6,600円（消費税込）

申込方法

※左の二次元コードを読み取るか、下のURLから受講申込みフォームに入り、お申し込み下さい。

<http://jiiiosaka.jp/BforthForm/?id=36>

問い合わせ先

一般社団法人 大阪発明協会（<http://www.jiiiosaka.jp/>）

電話 06-4792-7621 kensyu@jiiiosaka.or.jp